

令和 3 年度生徒指導上の諸課題に関する状況について

【 】内は対前年比

I 島根県の調査結果の概要

1. 暴力行為の発生件数（公立小学校・中学校・高等学校）

別添 1 参照

- (1) 公立小学校・中学校・高等学校の合計は 667 件【+89 件】、1,000 人当たりの発生件数は 10.2 件【+1.5 件】。

発生件数、1,000 人当たりの発生件数いずれも 4 年ぶりの増加となっている。

国公立の 1,000 人当たりの発生件数 (9.6 件) は、全国平均の 6.0 件を上回っている。

- (2) 校種別では、小学校では 406 件【+59 件】、中学校では 240 件【+23 件】、高等学校では 21 件【+7 件】。

- (3) 暴力を伴う児童生徒同士のけんかを積極的に暴力行為として認知したこと等が増加の要因として考えられる。

2. いじめの状況等（公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）

別添 2 参照

- (1) 公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の認知件数の合計は 2,650 件【+368 件】、1,000 人当たりの認知件数は 39.7 件【+5.8 件】。

認知件数、1,000 人当たりの認知件数いずれも 3 年ぶりの増加。

国公立の 1,000 人当たりの認知件数 (37.3 件) は、全国平均の 47.7 件を下回っている。

- (2) 校種別では、小学校では 1,704 件【+252 件】、中学校では 755 件【+152 件】、高等学校では 154 件【▲10 件】、特別支援学校では 37 件【▲26 件】。

- (3) 教職員に対する研修等でいじめの積極的な認知をするよう働きかけたことで生徒間の暴力をいじめとして認知することが増えたこと等が増加の要因と考えられる。

3. 小学校・中学校の長期欠席のうち不登校の状況（公立）

別添 3 参照

- (1) 公立小学校・中学校の不登校児童生徒数の合計は 1,528 人【+271 人】、1,000 人当たりの人数は 30.0 人【+5.4 人】。

不登校児童生徒数、1,000 人当たりの人数ともに 6 年連続の増加。

国公立の 1,000 人当たりの人数 (29.9 人) は、全国平均の 25.7 人を上回っている。

- (2) 校種別では、小学校では 595 人【+97 人】、中学校では 933 人【+174 人】。

- (3) コロナ禍において休校や学年閉鎖などで生活リズムが崩れたり、学校を休むことへの抵抗感が低下していること等が増加の要因と考えられる。
- (4) 島根県は長期欠席者のうち不登校を理由とする者の数が全国より高い状況が続いているが、頭痛や腹痛で欠席する場合でも背景に不登校が疑われる場合には不登校として分類することがあることも影響していると考えている。

4. 高等学校の長期欠席のうち不登校の状況（公立）

別添 4 参照

- (1) 公立高等学校の不登校生徒数は 300 人【+80 人】、1,000 人当たりの生徒数は 22.5 人【+6.5 人】。

生徒数、1,000 人当たりの生徒数、いずれも 2 年連続の増加。

国公立の 1,000 人当たりの生徒数 (22.9 人) は、全国平均の 16.9 人を上回っている。

- (2) 比較的規模の大きい学校において人数が多い傾向があった。

5. 高等学校中途退学者等の状況（公立）

別添 5 参照

- (1) 公立高等学校の中途退学者数は 87 人【▲27 人】。在籍者数に対する割合は 0.6%【▲0.1 ポイント】。

中途退学者数、割合ともに 5 年連続の減少。

国公立の在籍者数に対する割合 (0.8%) は、全国平均の 1.2%を下回っている。

- (2) 課程別では、全日制 45 人【±0 人】、定時制 11 人【▲1 人】、通信制 31 人【▲26 人】。
- (3) 中学校でのキャリア教育や高校のオープンキャンパスなどによる情報提供により、ミスマッチが少なくなり進路変更などの退学が減少していると考えられる。

II 島根県の対応（公立学校）

島根県では生徒指導上の諸課題に対して、「未然防止」「早期発見・早期支援」の取組等を進め、改善を図っている。

1. 未然防止

全ての児童生徒にとって自らの居場所があり、他者との絆を実感できるような魅力ある学校づくりを進めることが、いじめや不登校が生じにくい環境につながることから、教職員の指導力を高める研修等を実施している。

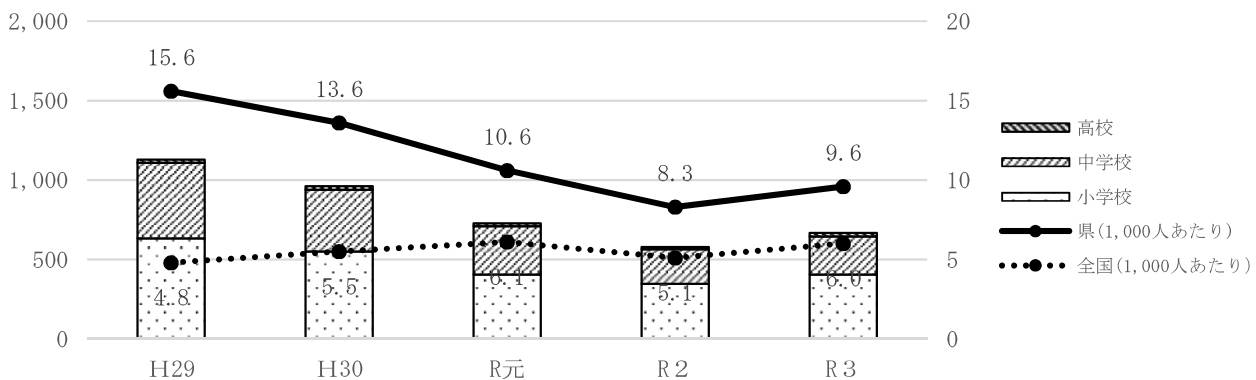
2. 早期発見・早期支援

いじめや不登校等の兆候をできるだけ早期に発見し組織的な支援を行うために、中心となる教育相談コーディネーターを養成するための研修のほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを各学校に配置・派遣する等の取組を行っている。

別 添

1 暴力行為の発生件数（公立小学校・中学校・高等学校）

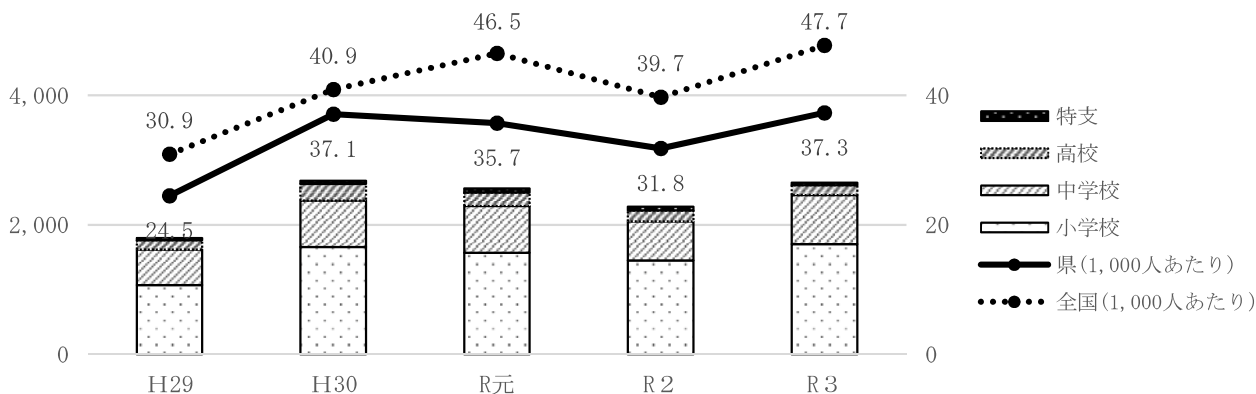
	小学校 発生件数 (1,000人あたり)	中学校 発生件数 (1,000人あたり)	高等学校 発生件数 (1,000人あたり)	合 計 発生件数 (1,000人あたり)	県(国公立) 発生件数 (1,000人あたり)	全国(国公立) 発生件数 (1,000人あたり)
H29	633 (18.3)	476 (27.1)	19 (1.2)	1,128 (16.5)	1,146 (15.6)	(4.8)
H30	550 (15.9)	390 (23.0)	21 (1.3)	961 (14.2)	990 (13.6)	(5.5)
R元	406 (11.8)	304 (17.9)	18 (1.2)	728 (10.9)	761 (10.6)	(6.1)
R 2	347 (10.2)	217 (12.8)	14 (0.9)	578 (8.7)	591 (8.3)	(5.1)
R 3	406 (12.0)	240 (14.0)	21 (1.4)	667 (10.2)	679 (9.6)	(6.0)



2 いじめの状況等（公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）

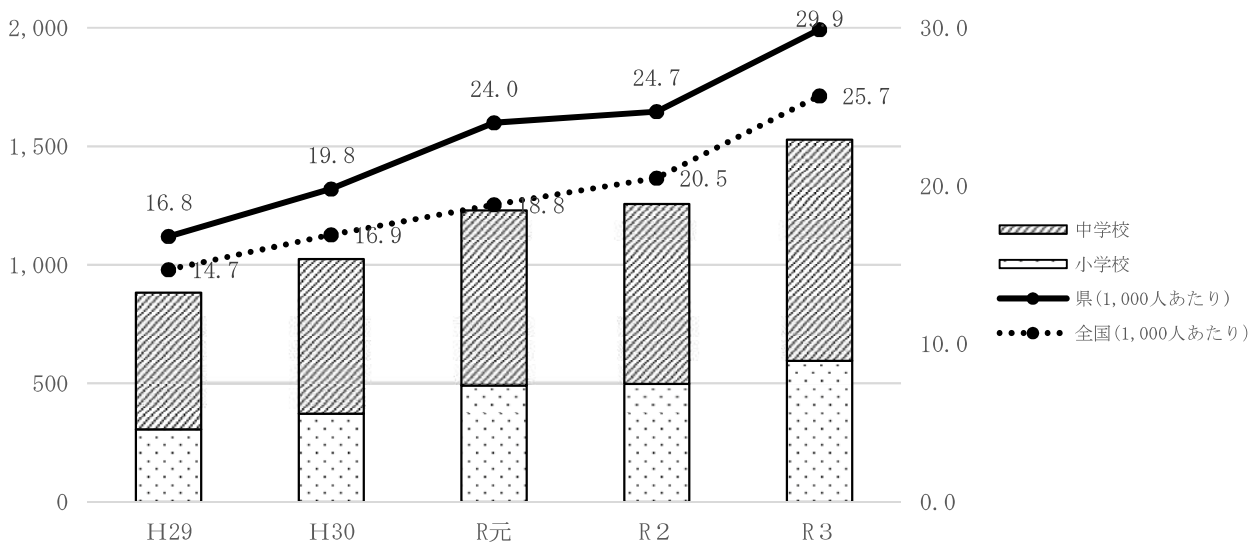
	小学校 認知件数 (1,000人あたり)	中学校 認知件数 (1,000人あたり)	高等学校 認知件数 (1,000人あたり)	特別支援学校 認知件数 (1,000人あたり)	合 計 認知件数 (1,000人あたり)	県(国公立) 認知件数 (1,000人あたり)	全国(国公立) 認知件数 (1,000人あたり)
H29	1,067 (30.9)	550 (31.3)	144 (9.0) ※ 144 (9.9)	36 (35.4)	1,797 (26.0) ※ 1,797 (26.5)	1,831 (24.5)	(30.9)
H30	1,656 (47.8)	720 (42.4)	255 (16.1) ※ 254 (17.5)	48 (47.9)	2,679 (39.1) ※ 2,678 (39.9)	2,742 (37.1)	(40.9)
R元	1,567 (45.7)	724 (42.5)	208 (13.4) ※ 206 (14.6)	62 (62.1)	2,561 (37.7) ※ 2,559 (38.5)	2,607 (35.7)	(46.5)
R 2	1,452 (42.6)	603 (35.5)	164 (10.8) ※ 162 (11.7)	63 (63.8)	2,282 (33.9) ※ 2,280 (34.6)	2,305 (31.8)	(39.7)
R 3	1,704 (50.4)	755 (44.1)	154 (10.4) ※ 152 (11.4)	37 (38.0)	2,650 (39.7) ※ 2,648 (40.6)	2,672 (37.3)	(47.7)

※は通信制高校を含まない数値



3 小学校・中学校の長期欠席のうち不登校の状況（公立）

	小学校 不登校児童数 (1,000人あたり)		中学校 不登校生徒数 (1,000人あたり)		合 計 (1,000人あたり)		県(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)		全国(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
H29	306	(8.9)	576	(32.8)	882	(16.9)	892	(16.8)		(14.7)
H30	372	(10.7)	652	(38.4)	1,024	(19.8)	1,043	(19.8)		(16.9)
R元	491	(14.3)	739	(43.4)	1,230	(24.0)	1,257	(24.0)		(18.8)
R2	498	(14.6)	759	(44.7)	1,257	(24.6)	1,283	(24.7)		(20.5)
R3	595	(17.6)	933	(54.5)	1,528	(30.0)	1,551	(29.9)		(25.7)



理由別長期欠席者数（小学校）

	在籍者数	理由別長期欠席者数（割合）					計
		病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	
R元	34,290	44 (0.13%)	0 (0.00%)	491 (1.43%)		38 (0.11%)	573 (1.67%)
R2	34,087	40 (0.12%)	0 (0.00%)	498 (1.46%)	5 (0.01%)	30 (0.09%)	573 (1.68%)
R3	33,806	31 (0.09%)	0 (0.00%)	595 (1.76%)	18 (0.05%)	84 (0.25%)	728 (2.15%)

※ R2～「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の児童を計上

※ R2～「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

理由別長期欠席者数（中学校）

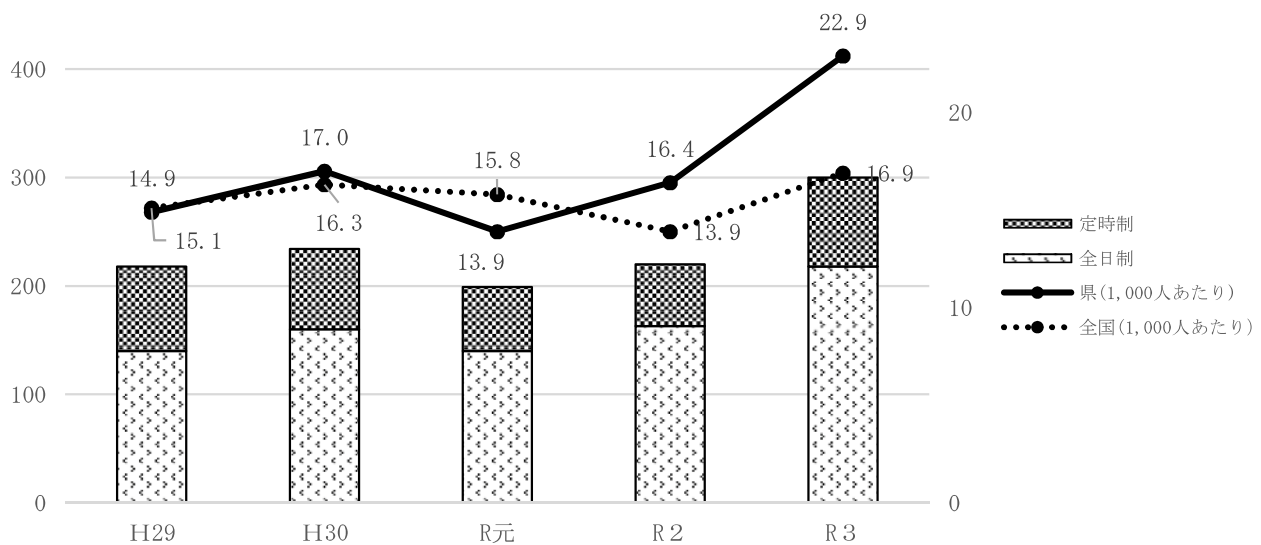
	在籍者数	理由別長期欠席者数（割合）					計
		病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	
R元	17,026	54 (0.32%)	0 (0.00%)	739 (4.34%)		36 (0.21%)	829 (4.87%)
R2	16,989	60 (0.35%)	0 (0.00%)	759 (4.47%)	10 (0.06%)	23 (0.14%)	852 (5.02%)
R3	17,104	96 (0.56%)	0 (0.00%)	933 (5.45%)	17 (0.10%)	67 (0.39%)	1,113 (6.51%)

※ R2～「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の生徒を計上

※ R2～「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

4 高等学校の長期欠席のうち不登校の状況（公立）

	全日制 不登校生徒数 (1,000人あたり)		定時制 不登校生徒数 (1,000人あたり)		合 計 (1,000人あたり)		県(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)		全国(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)	
H29	140	(9.8)	78	(248.4)	218	(14.9)	280	(14.9)		(15.1)
H30	160	(11.3)	74	(233.4)	234	(16.1)	316	(17.0)		(16.3)
R元	140	(10.1)	59	(179.3)	199	(14.1)	251	(13.9)		(15.8)
R2	163	(12.1)	57	(164.3)	220	(16.0)	290	(16.4)		(13.9)
R3	218	(16.7)	82	(250.0)	300	(22.5)	392	(22.9)		(16.9)



理由別長期欠席者数（全日制及び定時制高等学校）

	在籍者数	理由別長期欠席者数（割合）					計
		病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	
R元	14,130	97 (0.69%)	1 (0.01%)	199 (1.41%)		12 (0.08%)	309 (2.19%)
R2	13,791	76 (0.55%)	1 (0.01%)	220 (1.60%)	9 (0.07%)	9 (0.07%)	315 (2.28%)
R3	13,343	70 (0.52%)	0 (0.00%)	300 (2.25%)	25 (0.19%)	15 (0.11%)	410 (3.07%)

※ R2～「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の児童を計上

※ R2～「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

5 高等学校中途退学者等の状況（公立）

	公立全日制 中途退学者数 (割合%)	公立定時制 中途退学者数 (割合%)	公立通信制 中途退学者数 (割合%)	合計 (割合%)	県(国公立) 中途退学者数 (割合%)	全国(国公立) 中途退学者数 (割合%)
H29	63 (0.4)	24 (7.6)	132 (9.1)	219 (1.4) ※ 87 (0.6)	300 (1.5)	(1.3)
H30	55 (0.4)	18 (5.7)	69 (5.2)	142 (0.9) ※ 73 (0.5)	225 (1.1)	(1.4)
R元	52 (0.4)	15 (4.6)	63 (4.5)	130 (0.8) ※ 67 (0.5)	202 (1.0)	(1.3)
R2	45 (0.3)	12 (3.5)	57 (4.0)	114 (0.7) ※ 57 (0.4)	159 (0.8)	(1.1)
R3	45 (0.3)	11 (3.4)	31 (2.1)	87 (0.6) ※ 56 (0.4)	142 (0.8)	(1.2)

※は通信制高校を含まない数値

